Form No. 3480-257 Rev A

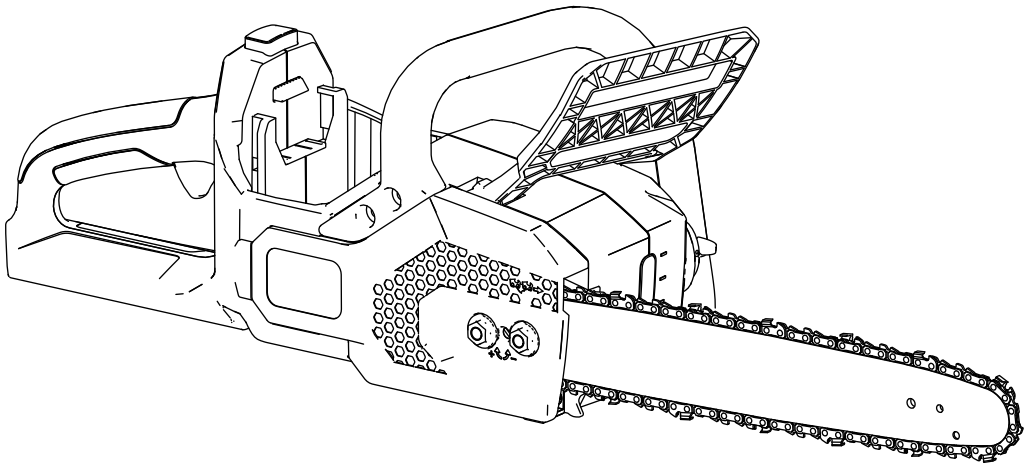
TORO®

Count on it.

オペレーターズマニュアル

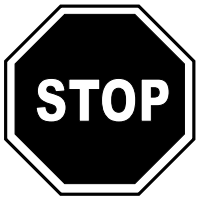
Flex-Force Power System® 41cm (16in) 60V MAXチェーンソー

モデル番号 51845T—シリアル番号 326000000 以上



製品の登録は www.Toro.com.
この文書は翻訳です。 (JA)

3480-257



サポートが必要な場合は、www.Toro.com/supportでガイダンスビデオを参照するか、この製品を返品する前に認定サービスディーラーに問い合わせてください。

この製品は、関連するすべての欧州指令に準拠しています。詳細については、個別の製品固有の適合宣言(DOC) シートを参照してください。

はじめに

このチェーンソーは、ガイドバーの切断長さ以下の直径の木の枝、丸太、木の梁を切断するために設計されています。大人以外は使用できません。Flex-Force ™60Vリチウムイオンバッテリーパックを使用するように設計されています。これらのバッテリーパックは、Flex-Force 60Vリチウムイオンバッテリーチャージャーでのみ充電できるように設計されています。これらのマシンは本来の目的から外れた使用をすると運転者本人や周囲の人間に危険な場合があります。

モデル51845Tにはバッテリーや充電器は付属していません。

ここに記された情報を注意深くお読みになって、製品の操作方法や保守方法を守り、けがをしなよう、また製品を損傷しないようにお使いください。この製品を適切かつ安全に使用するのはお客様の責任です。

安全上の注意事項、取扱い説明書、アクセサリについての資料、代理店の検索、製品のご登録などについては www.Toro.com へ。

サービス、純正Toro部品、または追加情報が必要な場合は、製品のモデル番号とシリアル番号を用意の上、いつでも正規サービスディーラーまたはToroカスタマーサービスに連絡してください。図 1は、製品のモデル番号とシリアル番号の位置を示します。空欄に番号を書いておきましょう。

重要 **モバイルデバイスでシリアル番号プレートのQRコードをスキャンすると、保証、製品、その他の製品情報にアクセスすることができます。**

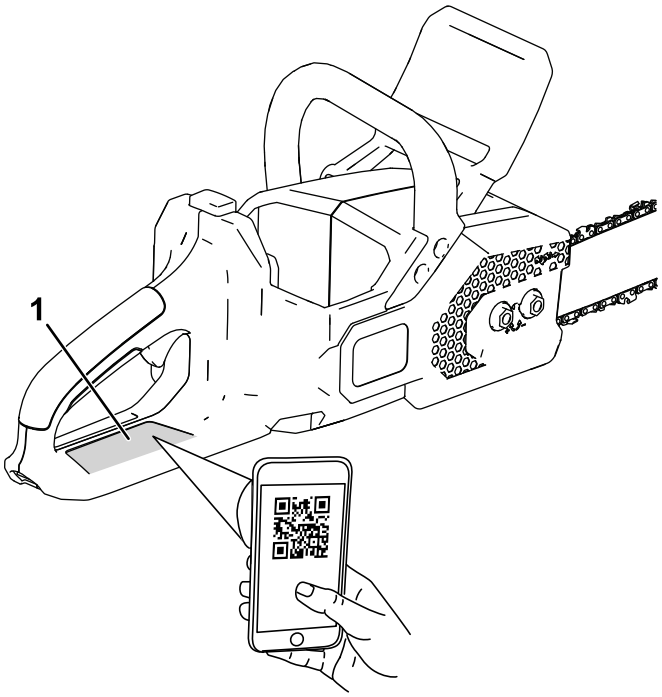


図 1

1. モデル番号、シリアル番号、QRコードの位置

モデル番号 _____

シリアル番号 _____

© 2026—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

連絡先 www.Toro.com.
Printed in China
禁無断転載

危険警告記号

危険警告記号図 2は、このマニュアルと実機上とに表示され、事故防止のために守るべき重要な注意事項を示します。



g000502

図 2
危険警告記号

危険警告記号に続いて、**危険**、**警告**、または**注意**という文字が表示され、危険についての具体的な内容が示されます。

危険人の生命に関わる重大な潜在的危険を意味します。この注意を守らないと死亡事故や重大な人身事故が**起こります**。

警告人の生命に関わる潜在的危険を意味します。この注意を守らないと死亡事故や重大な人身事故が**起こる恐れがあります**。

注意安全に関わる潜在的危険を意味します。この注意を守らないとけがをする**可能性があります**。

この他に2つの言葉で注意を促しています。**重要** は製品の機械的特徴などについての注意点を、**注**はその他の注意点を表しています。

目次

危険警告記号 3
安全について 4
..... 4
..... 5
パーソナルプロテクティブエクイップメント 7
デカールシンボル 8
組み立て 9
チェーンソーへのバーとチェーンオイルの充填 9
製品の概要 9
仕様 10
アタッチメント/アクセサリー 10
運転操作 10
チェーンソーを使う前 10
チェーンソーの始動 11
チェーンソーの停止 11
チェーンソーで切断する 12
木の剪定 13
木の伐採 13
倒れた木の枝払い 15
丸太の玉切り 16
バッテリーパックの取り付け 17
バッテリーパックの取り外し 17
保守 18
推奨される定期整備作業 18
オイルレベルのチェックとバーとチェーンオイルの補充 18
チェーンブレーキのチェック 19
バーとチェーンオイルの流れのチェック 19
チェーンの張りを調整する 20
ガイドバー、チェーン、ドライブスプロケットのメンテナンス 21
ガイドバーとチェーンの取り付け 22
チェーンの研磨 22
サービス 22
保管 23
バッテリーパックをリサイクルする準備 23
故障探究 24

安全について

⚠ 警告

この電動工具に付属するすべての安全上の警告、指示、図、仕様を読んでください。

以下のすべての指示に従わなかった場合、感電、火災、または重傷を負う場合があります。

将来の参照用にすべての警告と指示書を保存してください。

すべての警告における「電動工具」という用語は、主電源で動作する (コード付き) 電動工具またはバッテリーで動作する (コードレス) 電動工具を指します。

重要な安全性注意事項説明書

I. 作業エリアの安全

1. **作業エリアを清潔に明るく保ちます。** *雑然とした場所や暗い場所は事故を招きます。*
2. **可燃性の液体、ガス、粉塵などが存在する爆発性雰囲気内で電動工具を操作しないでください。** *電動工具は火花を発生させ、それが粉塵や煙に引火する場合があります。*
3. **電動工具の操作中は、子供や周囲の人を近づけないでください。** *気が散るとコントロールを失う可能性があります。*

II.電気的安全性

1. **電動工具のプラグはコンセントと合っている必要があります。プラグを決して改造しないでください。アース接地された電動工具にはアダプタプラグを使わないでください。** *改造されていないプラグとそれに合ったコンセントを使うと、感電の危険性が軽減されます。*
2. **パイプ、ラジエーター、レンジ、冷蔵庫など、アースされた表面との身体接触を避けてください。** *身体がアースされている場合、感電の危険性がさらに高まります。*
3. **電動工具を雨や湿気の多い場所に放置しないでください。** *電動工具内に水が入ると感電の危険性が高まります。*
4. **コードを乱暴に扱わないでください。電動工具を持ち運んだり、引っ張ったり、プラグを抜いたりする際にはコードを引っ張らないでください。コードを熱、油、鋭利な部分、可動部品から遠ざけてください。** *コードが損傷したり絡まったりすると、感電の危険性が高まります。*
5. **屋外で電動工具を操作する場合は、屋外使用に適した延長コードを使ってください。** *屋外使用に適したコードを使うと、感電の危険性が軽減されます。*
6. **湿気の多い場所で電動工具を操作する必要がある場合は、残留電流デバイス (RCD) 保護電源を使ってください。** *RCDを使うと感電の危険性が軽減されます。*

III.個人の安全

1. **常に注意を払い、電動工具を操作するときは慎重に、分別を持って行ってください。疲れているとき、または薬物、アルコール、医薬品の影響下にあるときは、電動工具を使わないでください。** *電動工具の操作中に一瞬でも不注意になると、重大な人身傷害を引き起こす場合があります。*
2. **個人用保護具を使ってください。常に目の保護具を着用してください。** *防塵マスク、滑り止め付き安全靴、ヘルメット、聴覚保護具などの保護具を適切な状況で使うと、人身傷害を軽減できます。*
3. **不意の始動を防止する。電源やバッテリーパックに接続する前、ツールを持ち上げる前、または持ち運ぶ前に、スイッチがオフの位置にあることを確認してください。** *スイッチに指を置いたまま電動工具を運んだり、スイッチがオンになっている電動工具に通電したりすると、事故の原因になります。*
4. **電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチを取り外してください。** *レンチやキーを電動工具の回転部分に取り付けたままにしておくと、人身事故につながる場合があります。*
5. **無理をしないこと。常に適切な足場とバランスを保ってください。** *これにより、予期せぬ状況でも電動工具をより適切に制御できるようになります。*
6. **適切な衣服を着用する。ゆったりとした衣服や宝石類を身につけないでください。髪の毛や衣服を可動部分に近づけないでください。** *ゆったりした衣服、宝石、長い髪などは可動部分に巻き込まれる可能性があります。*
7. **集塵設備を接続するための装置が設けられている場合は、しっかりと接続され、適切に使われていることを確認してください。** *集塵装置を使うと、粉塵関連の危険を軽減できます。*
8. **ツールを頻繁に使うことで得られる慣れによって油断し、ツールの安全性の原則を無視しないようにしてください。** *不注意な行動により、一瞬のうちに重傷を負う可能性があります。*

IV.電動工具の使用と手入れ

1. **電動工具に無理な力を加えないでください。使用状況に適した電動工具を使ってください。** *適切な電動工具を使えば、設計された速度で、より良く、より安全に作業を実行できます。*
2. **スイッチでオン/オフができない場合は電動工具を使わないでください。** *スイッチで制御できない電動工具は危険なので修理する必要があります。*
3. **電動工具の調整、アクセサリの交換、または保管を行う前に、電源からプラグを抜くか、取り外し可能な場合はバッテリーパックを電動工具から**

取り外してください。 *このような予防的な安全対策により、電動工具が誤って起動するリスクが軽減されます。*

4. **使っていない電動工具は子供の手の届かないところに保管し、電動工具やこの手順に精通していない人が電動工具を操作しないようにしてください。** *電動工具は、訓練を受けていないユーザーの手に渡ると危険です。*
5. **電動工具と付属品をメンテナンスする。位置ずれや固着した可動部品、取り付け不良、その他電動工具の動作に影響する可能性のある状態がないかチェックしてください。損傷している場合は、使う前に電動工具を修理してください。** *多くの事故は、メンテナンスが不十分な電動工具によって引き起こされます。*
6. **切削工具はよく研いで清潔に保ってください。** *適切にメンテナンスされた鋭い刃先を持つ切削工具は、固着する可能性が低く、制御が容易です。*
7. **作業条件や作業内容を考慮して、電動工具、付属品、工具ビット等はこれらの指示に従って使ってください。** *電動工具を意図された操作とは異なる態様で使うと、危険な状況が発生する可能性があります。*
8. **ハンドルと掴む面は乾燥した清潔な状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。** *ハンドルや掴む面が滑りやすいと、予期しない状況が発生するとツールを安全に扱ったり制御したりすることができなくなります。*

V. バッテリーツールの使用と手入れ

1. **メーカー指定の充電器のみを使って充電してください。** *ある種のバッテリー パックに適した充電器でも、別のバッテリーパックに使うと、火災の危険が生じる場合があります。*
2. **専用に指定されたバッテリーパックのみを備えた電動工具を使ってください。** *他のタイプのバッテリーパックを使うと、怪我や火災が発生する危険があります。*
3. **バッテリーパックを使っていないときは、端子間を短絡させる危険性のあるその他金属物 (ペーパークリップ、コイン、鍵、釘、ネジなど) から遠ざけてください。** *バッテリー端子を短絡させると、火傷や火災の原因となる可能性があります。*
4. **不適切な状況下では、バッテリーから液体が噴出する場合があるので、接触を避けてください。誤って接触した場合は、水で洗い流してください。液体が目に触れた場合は、医師の診察を受けてください。** *バッテリーから噴出した液体により、炎症や火傷を起こす場合があります。*
5. **破損または改造されたバッテリーパックやツールは使わないでください。** *損傷したバッテリーや改造されたバッテリーは予期しない動作が発生し、火災、爆発、または傷害の危険性があります。*
6. **バッテリーパックやツールを火気や高温にさらさないでください。** *火気にさらしたり、130 °C以上の高温にさらすと爆発する可能性があります。*
7. **すべての充電手順に従ってください。また、説明書に指定された温度範囲外でバッテリー パックやツールを充電しないでください。** *適切に充電しなかったり、指定範囲外の温度で充電すると、バッテリーが損傷し、火災の危険が高まる可能性があります。*

VI. サービス

1. **同一の交換部品のみを使って、資格のある修理担当者に電動工具の修理を依頼してください。** *これにより、電動工具の安全性が維持されます。*
2. **損傷したバッテリーパックを修理しないでください。** *バッテリーパックの修理は、製造元または認定サービスプロバイダー以外は行うことができません。*

VII. チェーンソーの安全性

1. **チェーンソーが作動しているときは、体のあらゆる部分をチェーンソーから遠ざけてください。チェーンソーを始動する前に、チェーンが何かに接触していないようにしてください。** *チェーンソーを操作するときに一瞬でも不注意になると、衣服や身体がチェーンに絡まってしまう場合があります。*
2. **チェーンソーは常に右手で後部ハンドルを、左手で前部ハンドルを握って持ってください。** *チェーンソーを逆手で持つと、人身事故を起こすリスクが高まるため、絶対に行わないでください。*
3. **チェーンソーが隠れた配線に接触する場合があるため、チェーンソーは絶縁されたグリップ面のみを持つようにしてください。** *チェーンソーが通電中の電線に接触すると、チェーンソーの露出した金属部分が通電状態となり、作業者が感電する危険性ががあります。*
4. **目の保護具を着用してください。耳、頭、手、脚、足のための追加の保護具の使用が推奨されます。** *適切な保護具を着用すると、飛散するデブリやチェーンソーとの偶発的な接触による人身傷害を軽減できます。*
5. **チェーンソーを木の上、はしごの上、屋根の上、または不安定な支えの上で操作しないでください。** *このような状況下でチェーンソーを操作すると、重大な人身傷害を引き起こす可能性があります。*
6. **常に適切な足場を保ち、固定された安全で水平な面に立ってチェーンソーを操作してください。** *はしごなどの滑りやすいまたは不安定な表面では、チェーンソーのバランスや制御が失われる場合があります。*
7. **張力がかかっている枝を切るときは、跳ね返りに注意してください。** *木の繊維の張力が解放されると、反り返った枝が作業者に当たったり、チェーンソーが制御不能になったりする場合があります。*

8. **低木や苗木を切るときは細心の注意を払ってください。** *細い素材がソーチェーンに引っ掛かり、自分めがけて飛んできたり、バランスを崩させたりする場合があります。*

9. **チェーンソーの電源を切り、体から離した状態で、チェーンソーの前部ハンドルを持って持ち運んでください。チェーンソーを運搬または保管する場合は、必ずガイドバーカバーを取り付け、バッテリーを取り外してください。** *チェーンソーを適切に取り扱うことで、動いているチェーンソーに誤って接触する可能性が低減されます。*

10. **潤滑、チェーンの張り、バーとチェーンの交換に関する手順に従ってください。** *チェーンの張力や潤滑が不適切だと、チェーンが切れたり、キックバックの可能性が増す場合があります。*

11. **木材以外切断しないでください。チェーンソーを本来の目的以外に使わないでください。たとえば、金属、プラスチック、石材、または木材以外の建築資材を切断するためにチェーンソーを使わないでください。** *電動工具を意図された操作とは異なる態様で使うと、危険な状況が発生する可能性があります。*

12. **リスクとその回避方法を理解するまでは、木を伐採しないでください。** *木を伐採する際に、作業者または周囲いる人が重傷を負う可能性があります。*

13. **チェーンソーに詰まった材料を除去するとき、保管または保守するときは、すべての指示に従ってください。スイッチがオフになっており、バッテリー パックが取り外されていることを確認してください。** *詰まった材料を取り除いているときや修理中にマシンが予期せず始動すると、重大な人的損傷を引き起こす場合があります。*

14. **キックバックの原因とオペレーターによる防止策。** *キックバックは、ガイドバーの頭または先端が物体に接触したとき、または切断時に木材が閉じてソーチェーンが挟まったときに発生することがあります。*

    場合によっては、先端が接触すると突然の反力が発生し、ガイド バーがオペレータの方向へ跳ね返ることがあります。

    ガイドバーの上部に沿ってソーチェーンが挟まれると、ガイドバーが作業者の方へ急速に押し戻される場合があります。

    どちらの反応も、のこぎりの制御を失わせる原因となり、重大な傷害につながる可能性があります。のこぎりに組み込まれている安全装置だけに頼らないでください。チェーンソーを使用する際は、切断作業中に事故や怪我が起きないように、いくつかの予防措置を講じる必要があります。

    キックバックはチェーンソーの誤用や不適切な操作手順または使用状況によって発生するもので、以下に示す適切な予防措置を講じることで回避することができます

A. **チェーンソーのハンドルを親指と他の指で包み込むように握り、両手でチェーンソーを持ち、キックバックの力に抵抗できるように体と腕の位置を調整します。** *適切な予防措置を講じれば、キックバック力は作業者によってコントロール可能です。チェーンソーを放さないでください。*

B. **手を伸ばしすぎたり、肩の高さより上で切ったりしないでください。** *これにより、意図しない先端の接触を防ぎ、予期しない状況が起きてもチェーンソーをより適切に制御できるようになります。*

C. **メーカーが指定した交換用ガイドバーとソーチェーンのみを使ってください。** *ガイドバーやソーチェーンの交換が適切に行われないと、チェーンの破損やキックバックが発生する場合があります。*

D. **ソーチェーンの研磨およびメンテナンスについては、製造元の手順に従ってください。** *深度ゲージの高さを下げると、キックバックが増加する可能性があります。*

これらを保存してください
説明書

パーソナルプロテクティブエクイップメント

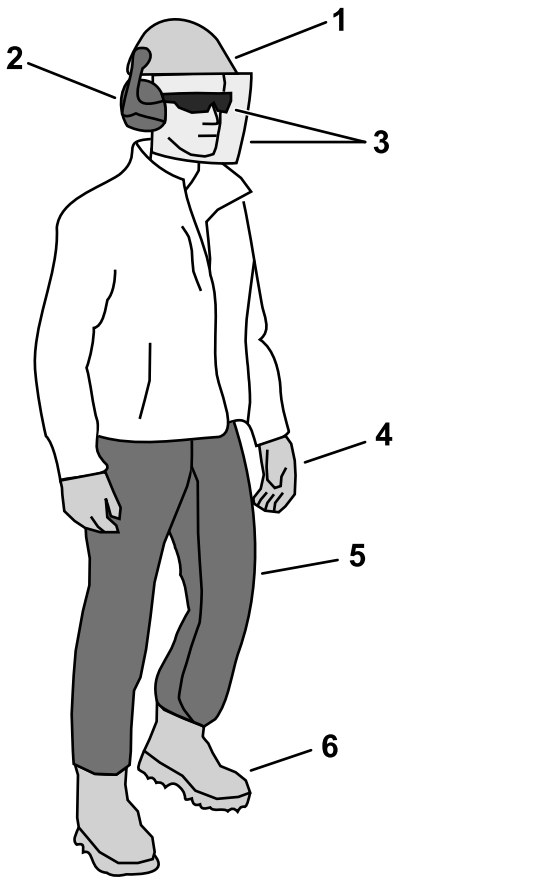


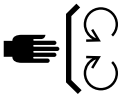
図 3

1. デブリが頭に接触する可能性がある場合には、ヘルメットを着用してください。
2. 聴覚保護具を着用する
3. 安全メガネやフェイスシールドを着用する
4. 手袋を着用する
5. 保護パンツまたはチャップスを着用する
6. しっかりした滑り止めの靴を履く

デカールシンボル

安全デカールとインストラクショはオペレーターに簡単に見えるようにします。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。

次の表は、デカールに表示される安全シンボルについて説明しています。

チェーンソーのデカール記号	説明
	手を切る危険性
	可動部分から離れてください。
	すべてのガードとシールドを所定の位置に維持してください。
	キックバックの危険性
	ガイドバーの先端を物に接触させないでください。
	チェーンソーを片手だけで操作しないでください。
	雨にさらさないでください。
	*取扱説明書*を読んでください。
	聴覚保護具を着用する。
	目の保護具を着用する。
	チェーンソーを操作するときは必ず両手を使う。

組み立て

チェーンソーへのバーとチェーンオイルの充填

重要 **バーとチェーンオイル別売のみを使ってください。**

チェーンソーにバーとチェーンオイルを充填する。 オイルレベルのチェックとバーとチェーンオイルの補充 (ページ 18)参照。

製品の概要

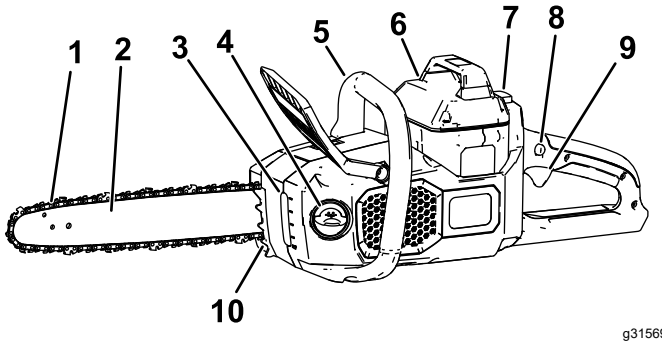


図 4

左側を図示

1. チェーン
2. ガイドバー
3. オイルウインドウ
4. オイルキャップ
5. フロントハンドル
6. バッテリーパック
7. ボタンラッチ
8. トリガーロック
9. トリガー
10. バッキングティース

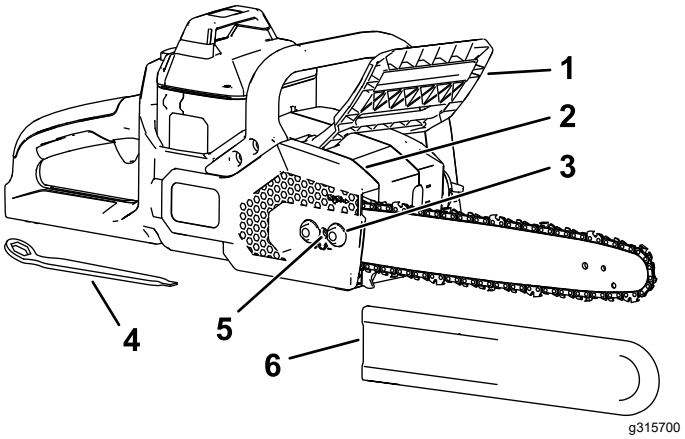


図 5

右側を図示

1. チェーンブレーキ
2. サイドカバー
3. キャプティブカバーナット
4. マルチツールリアハンドルの下
5. チェーン張りネジ
6. ガイドバーカバー

仕様

モデル	51845T
バーの長さ88613および88614を装備した場合	40.6 cm
チェーンゲージ88613および88614を装備した場合	0.043”
チェーンピッチ88613および88614を装備した場合	⅜”
チェーン長さ88613および88614を装備した場合	56リンク
定格電圧	最大60V DC、公称54 VDC使用
重量バッテリーなし	4.35 kg
充電器の種類	Flex-Force 60Vリチウムイオン充電器
バッテリータイプ	Flex-Force 60Vリチウムイオンバッテリー

適正温度範囲

バッテリーパックの充電/保管温度範囲	5℃40℃*
バッテリーパックの使用温度範囲	-30℃49℃*
ツールの使用温度範囲	0°C49℃*

*この範囲内で充電しないと充電時間が長くなります。

ツール、バッテリーパック、バッテリー充電器は、屋根付きの清潔で乾燥した場所に保管してください。

アタッチメント/アクセサリー

Toro承認済みのアタッチメントおよびアクセサリをマシンと一緒に使って、その機能を強化および拡張することができます。承認済みのアタッチメントとアクセサリのリストについては、認定サービス ディーラーまたはToro認定販売店にお問い合わせいただくか、www.Toro.comにアクセスしてください。

マシンの最適なパフォーマンスと継続的な安全認証を維持するには、Toro純正の交換部品とアクセサリのみを使ってください。他社製の交換部品やアクセサリは危険な場合があります。

運転操作

チェーンソーを使う前

チェーンソーを使う前に、次の手順に従ってください

- チェーンの張りをチェックする。 チェーンの張りを調整する (ページ 20)を参照してください。
- チェーンソーの部品を清掃し、過度の摩耗や損傷がないかチェックし、必要に応じて交換する。 ガイドバー、チェーン、ドライブスプロケットのメンテナンス (ページ 21)を参照してください。
- チェーンの鋭さや損傷をチェックし、必要に応じて研ぐか交換する。 チェーンの研磨 (ページ 22)を参照してください。
- オイルレベルをチェックする。 オイルレベルのチェックとバーとチェーンオイルの補充 (ページ 18)を参照してください。
- チェーンブレーキをチェックする。 チェーンブレーキのチェック (ページ 19)を参照してください。
- チェーンソーに損傷がないか、全体的な外観や性能をチェックする。スイッチがスムーズに動くか、通気口やハンドルがきれいか、バーが曲がったり損傷したりしていないか確認する。

チェーンソーの始動

1. チェーンソーの通気口にほこりやごみが詰まらないようにする図 6。

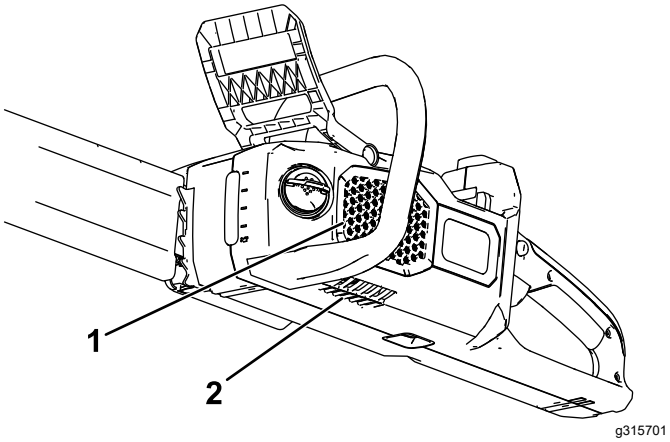


図 6

1. サイドベント
2. ボトムベント

2. チェーンソーを水平な場所にセットしてください。
3. バッテリーパックの舌部をチェーンソーのバッテリーキャビティに合わせる図 7。

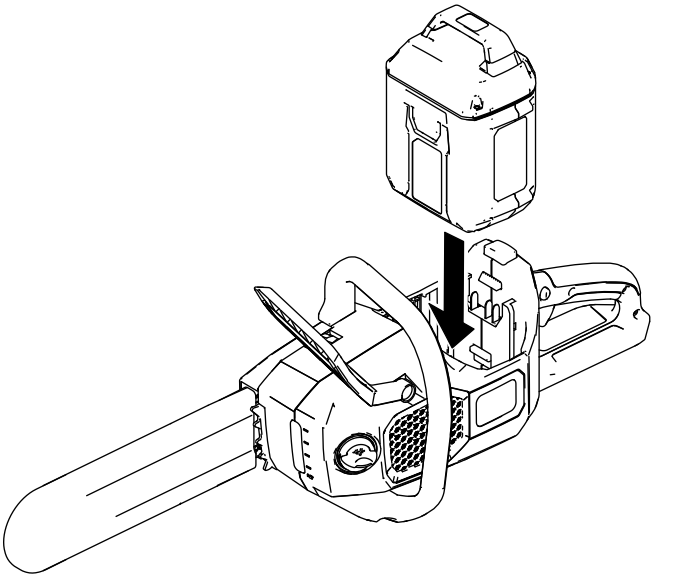


図 7

4. バッテリーパックが所定の位置に固定されるまで、バッテリーパックをバッテリーキャビティに押し込む。
5. チェーンから保護カバーを取り外す。
6. チェーンブレーキが作動位置にあることを確認する図 8。

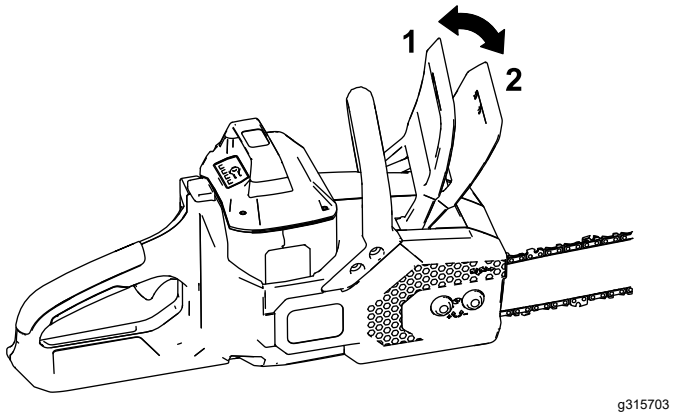


図 8

1. チェーンブレーキ作動位置
2. チェーンブレーキ停止位置

7. 左手でフロントハンドル、右手でリアハンドルを握り、トリガーロックを押してからトリガーを引く図 9。

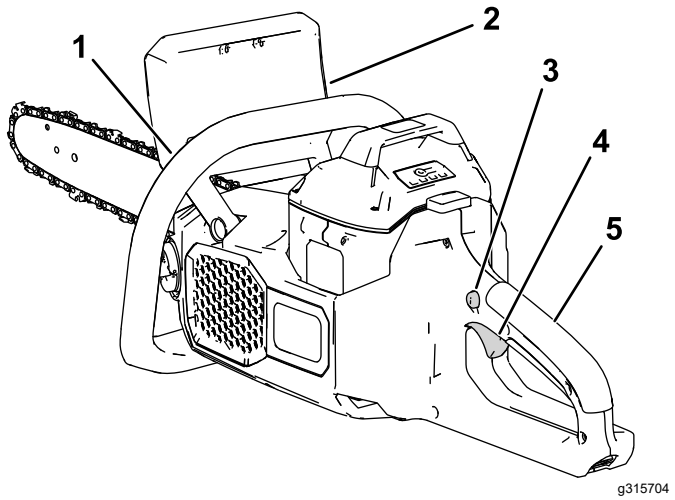


図 9

1. フロントハンドル
2. チェーンブレーキ
3. トリガーロック
4. トリガー
5. リアハンドル

チェーンソーの停止

チェーンソーを停止するには、トリガーを放します。

チェーンソーを使用していないときや、チェーンソーを作業エリアへ移動しているときは、チェーンブレーキを停止位置図 8に動かし、バッテリーパックを取り外してください。

チェーンソーで切断する

⚠ 警告

チェーンソーを適切に操作しないと、重大な傷害や死亡事故を引き起こす可能性があります。

人身傷害を避けるため、すべての操作手順を注意深く読んで従ってください。

⚠ 警告

キックバックにより、重大な傷害や致命傷を負う可能性があります。

チェーンソーを操作する前に、必ずチェーンブレーキシステムが正常に動作していることを確認してください。

チェーンソーのガイドバーの先端が切断対象物に触れないようにしてください。

キックバックには次の2つの種類があります

- チェーンソーの先端またはバーの上部のチェーンが物体に接触したときに生じる、チェーンソーの急激な**上向き**の動き。
- チェーンソーの先端またはバーの上部のチェーンが切断対象物に挟まれるときに生じる、チェーンソーの急激な**後ろ向き**の動き。

図 10はキックバックを防ぐために物体との接触を避けるためのバーの領域を示します。

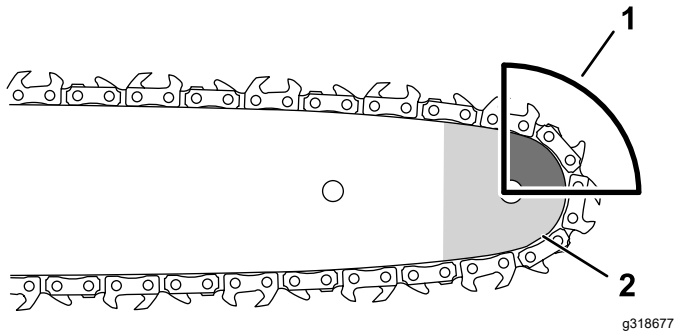


図 10

1. キックバックエリアノーズ、バーの上部　2. ノーズ

1. 図 11図に示すように、左手で前ハンドル、右手で後ハンドルを持ち、チェーンソーを両手で握ります。

   重要 **反動を抑えるために、左腕をまっすぐに伸ばし、肘をロックします。**

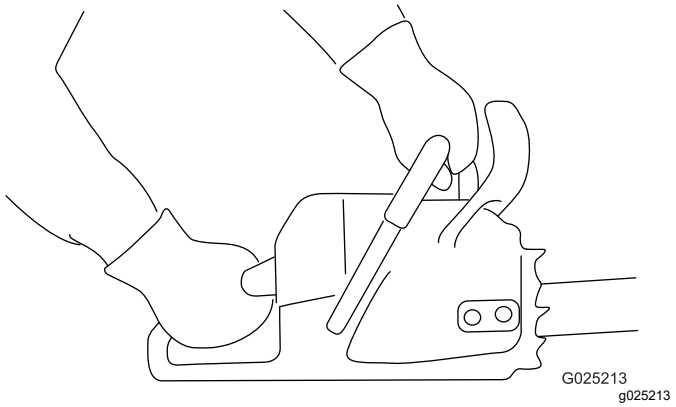


図 11

2. 切断する木材の前の堅くて平らな地面の上に立ちます。
3. チェーンソーの**左側**に立ち、**チェーンと一直線にならない**ようにし、切断中にバランスが取れて安定した足場を確保します。

   重要 **切断している木材の上に立たないでください。**
4. 切断する予定の木材のみを切断するようにしてください。切断中にチェーンソーが地面、他の丸太、またはその他の物体に接触しないようにしてください。
5. 切断を開始する前に、チェーンソーが全速力で回転するようにしてください。
6. ガイドバーの後ろ側、バッキングティースの近くで木材を切ります。チェーンソーを木材に軽く押し当て、チェーンソーの重さで切断します。

   注 バッキングティース図 12を使って軽い圧力をかけることもできます。

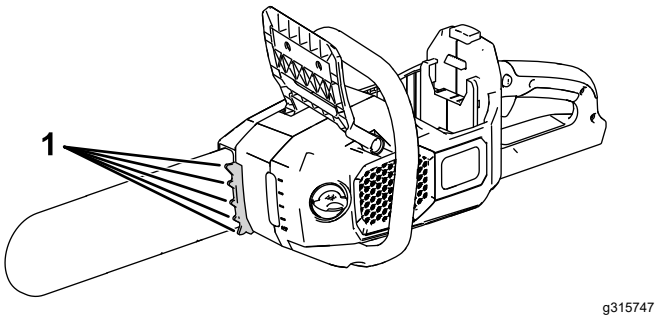


図 12

1. バッキングティース

7. チェーンソーに一定の圧力をかけ、真直ぐに切断し、切断の終わり近くでのみ圧力を緩めます。

木の剪定

⚠ 警告

地面から離れた木の高い枝を切ると、チェーンソーの作業中に危険な不安定な姿勢になる可能性があり、自分や周囲の人が重傷を負ったり死亡したりする可能性があります。

立っている木の枝を切るときは、次の手順に従ってください

- **チェーンソーを持ったまま大枝や枝の上に登らないでください。**
- **手を伸ばしすぎず、チェーンソーを両手で握って切断してください。**
- **枝が落ちる可能性のある場所から、周囲の人全員を遠ざけるようにしてください。**

1. 図 11図のようにチェーンソーを握ります。
2. 小さな枝を切断するときは、切断する枝に軽く圧力をかけます。
3. 大きな枝を切断するときは、浅い下切りをしてから枝の上側から切り込みを入れます。
   A. 幹から約15 cm離れた枝の下側から切り取ります。枝の3分の1を切ります。
   B. 枝のさらに外側、上から5.010.0 cmほど切り込みます。枝が落ちるまで切ります。
   C. 枝の付け根の部分で枝の切り口を切断します図 13。

   重要 **枝を幹の根元より下で切ったり、幹まで切り込んだり、大きな枝の切り株を残したりしないでください。木に損傷を与えます。**

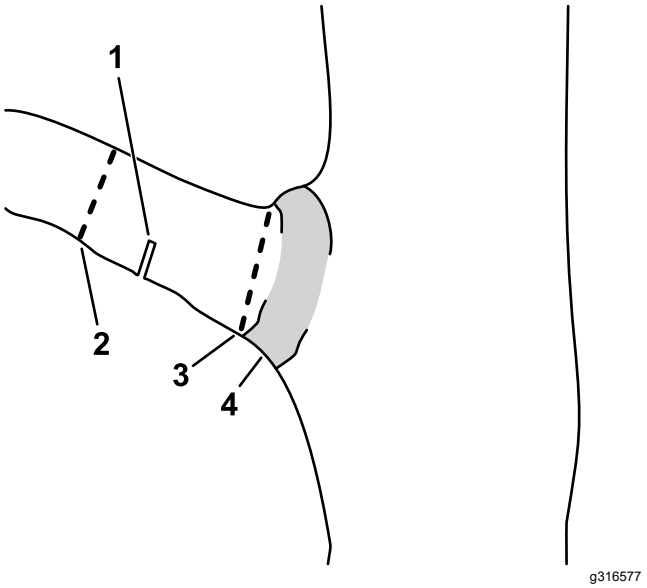


図 13

1. 最初のリリーフアンダーカット
2. セカンドスルーカット
3. 枝の切り口を取り除くための最終剪定
4. 枝の付け根幹から枝に移行する部分

木の伐採

⚠ 警告

立木を切るには専門知識が必要であり、危険も伴います。

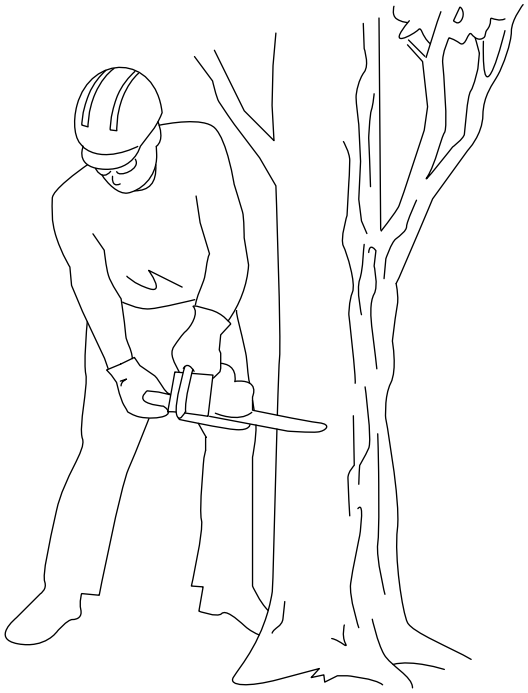
- **大きな木を切る前に、枝や小枝、小さな丸太をいくつか切る練習をし、チェーンソーの使い方に慣れてください。**
- **このチェーンソーで、ガイドバーの長さよりも大きな直径の木を伐採しないでください。**

⚠ 危険

頭上の緩んだ枝や絡まった枝は、切断時の振動で外れ、重傷や死亡事故につながる可能性があります。

切断前に必ず頭上に緩んだ枝や絡まった枝がないか確認してください。緩んだ枝や大枝を見つけた場合は、切断前に取り除いてください。

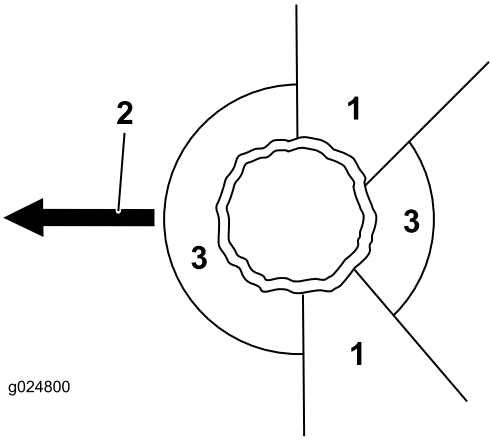
木を伐採するときの作業者の適切な姿勢は図 14に示されています。



g195831

図 14

1. 木が倒れる方向を確認します。次の変数を考慮に入れてください。
   - 風向き
   - 木の片側にある太い枝
   - 木の自然な傾きもしあれば
2. 危険なエリアから退避するための明確で安全な退避経路を確認します。図 15を参照してください。



g024800

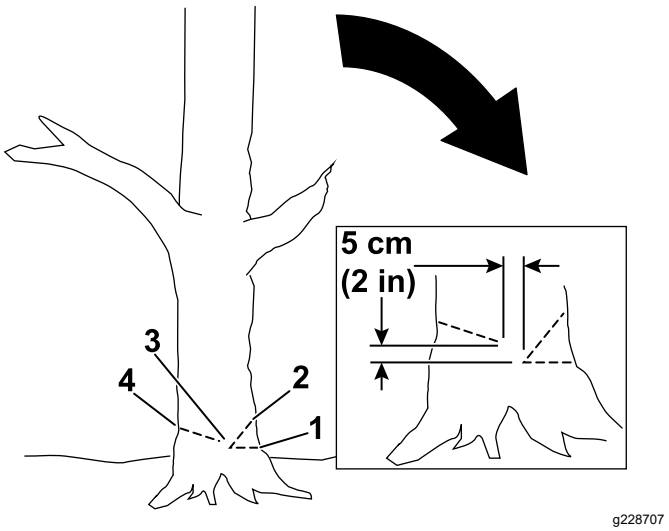
g024800

図 15

1. 退避経路落下予定方向と反対の45°の角度
2. 落下予定方向
3. 危険なエリア

3. 図 11図のようにチェーンソーを握ります。
4. 最初の切り込みは、木を倒したい側に木の直径の3分の1のところまで入れます図 16。

注 この切り込みを入れることで、次のカット中にチェーンソーが挟まれるのを防ぎます。



g228707

図 16

1. ファーストカット
2. セカンドカット
3. ヒンジ
4. バックカット

5. ファーストカットから5 cm以上離してセカンドカットの切り込みを入れ、ノッチを形成します図 16。

   重要 **ファーストカットとセカンドカットが同じ点で交わり、きれいなノッチが形成されるようにします。**
6. ノッチの反対側から、図 16図のようにノッチの底より 5 cm ほど高い位置でバックカットを行います。

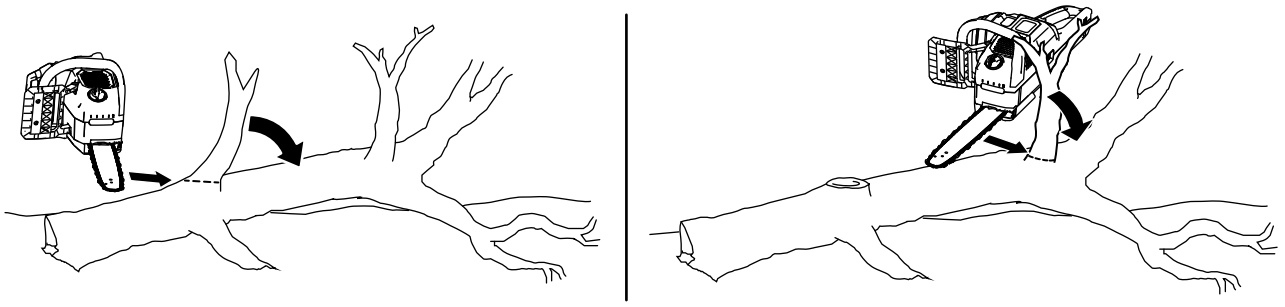
   重要 **サードカットは、ノッチから2.55.0 cm のところで止め、切り込みの間にヒンジを形成します図 16。これにより、木が間違った方向に倒れたり、倒れるときにねじれたりすることがなくなります。**

   注 バックカットがヒンジ図 16に近づくと、木は倒れ始めます。
7. 木が倒れ始めたら、チェーンソーを外し、電源を切って置き、手順2で確認した経路に沿って後退します。

   重要 **木が望ましくない方向に倒れ始めた場合は、すぐに切断を中止し、チェーンソーの電源を切り、チェーンソーを置き、非金属製のくさびを使ってバックカット切り口を開き、木を望ましい方向に押し出します。**

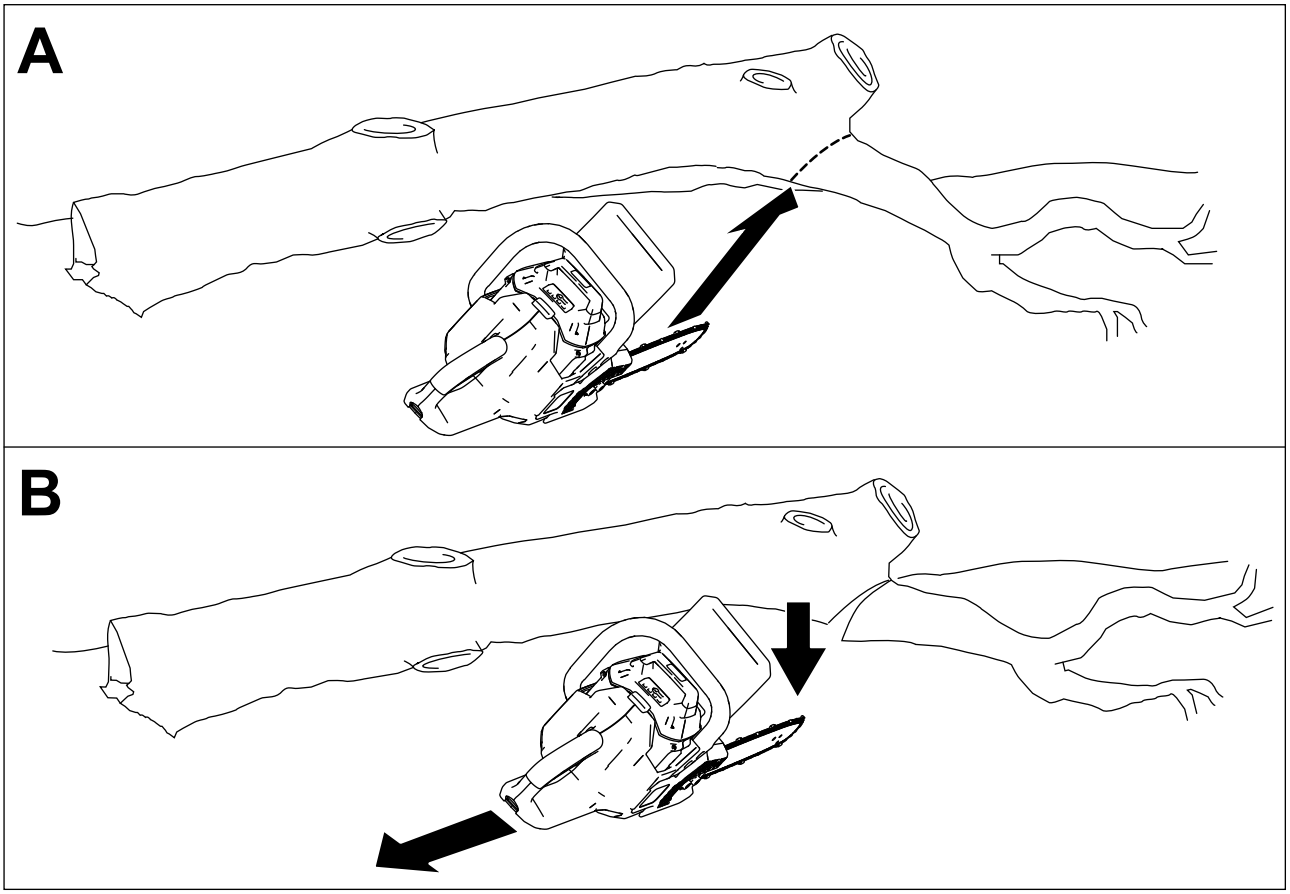
倒れた木の枝払い

1. 図 11図のようにチェーンソーを握ります。
2. 木の根元から先端に向かって、地面に対して木の重量を支えていない小さな枝を切り落とします図 17。
3. 木の重量を支えている太い枝は、鋸刃が挟まれないように下から上に向かって切ります図 18。



g316601

図 17



g315751

図 18

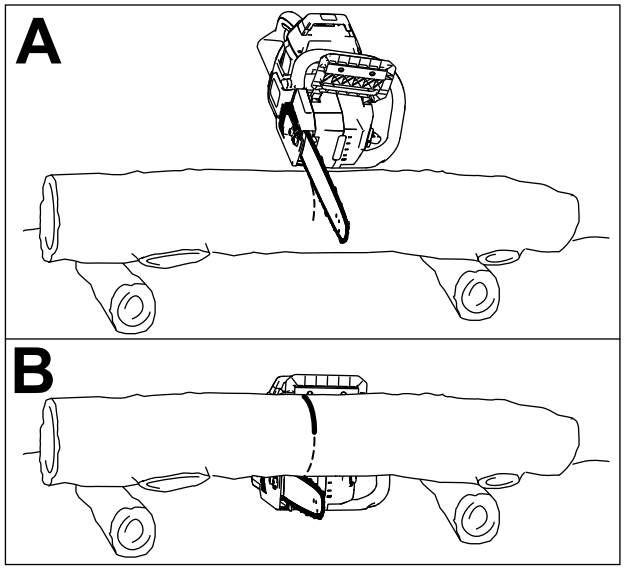
丸太の玉切り

丸太を玉切りするときは、丸太が支えられている場所と丸太のどこに荷重がかかっているかに注意してください。丸太の端が落ちたときにガイドバーが挟まれないように丸太を切ります。

重要 **チェーンソーが切断中に挟まれた場合は、モーターを作動させて解こうとしないでください。のこぎりの電源を切り、バッテリーを取り外し、くさびを使って切り口をこじ開けてのこぎりを解放します。**

倒れた木の枝を切ったり、丸太を所定の長さに切ったりする場合は、丸太を地面から離して支えてくださいできれば鋸で支えてください。

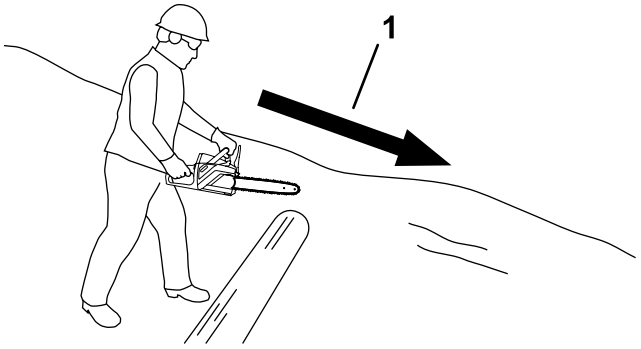
- 丸太が両端で支えられ、中央で支えられていない場合、荷重は丸太の中央にかかります。
  - 上側から始めて、丸太の約3分の1を切ります図 19A。
  - ファーストカットに合わせて、下側から セカンドカットの切り込みを入れます図 19B。これにより、鋸が丸太に挟まれることがなくなります。



g315765

図 19

- 丸太が片側で支えられている場合、荷重は丸太の自由端にかかります。
  - 下側から始めて、丸太の約3分の1を切ります。
  - ファーストカットに合わせて、上側から セカンドカットの切り込みを入れます。これにより、鋸が丸太に挟まれることがなくなります。
- 丸太が全長にわたって地面に置かれており、どの箇所にも重い荷重がかかっていない場合は、丸太を上から完全に切り抜きます。
- 丸太が斜面上にある場合は、必ず丸太の上り側に立ちます図 20。

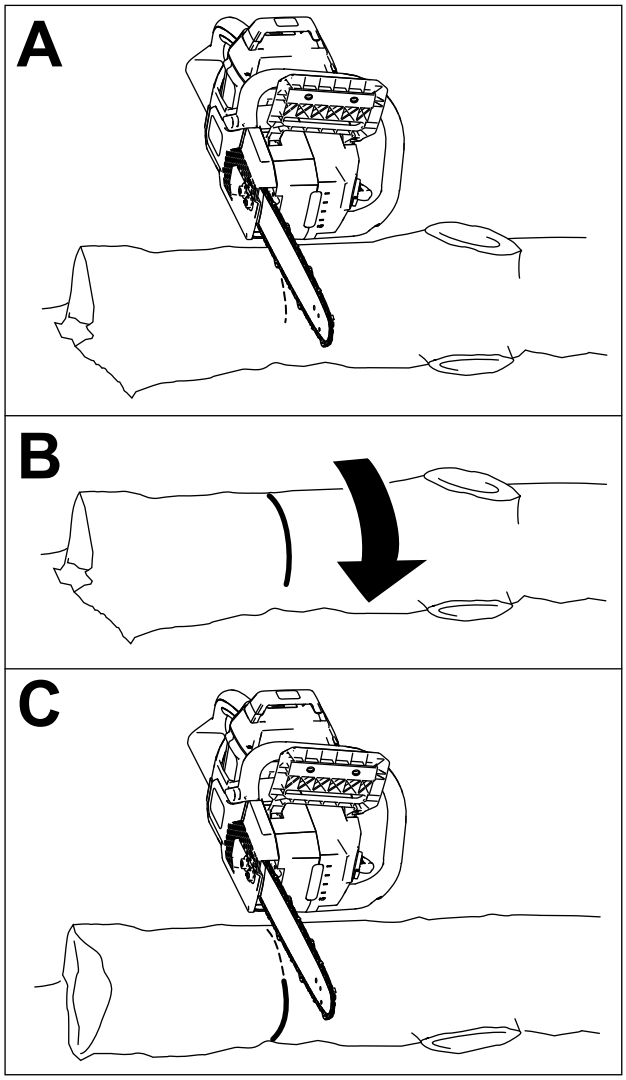


g315767

図 20

1. 斜面の方向

- 丸太の全長が平らな地面で支えられている場合、上部から直径の3分の1を切り込み、丸太を転がして最初の切り込みと合うように別の切り込みを入れます図 21。

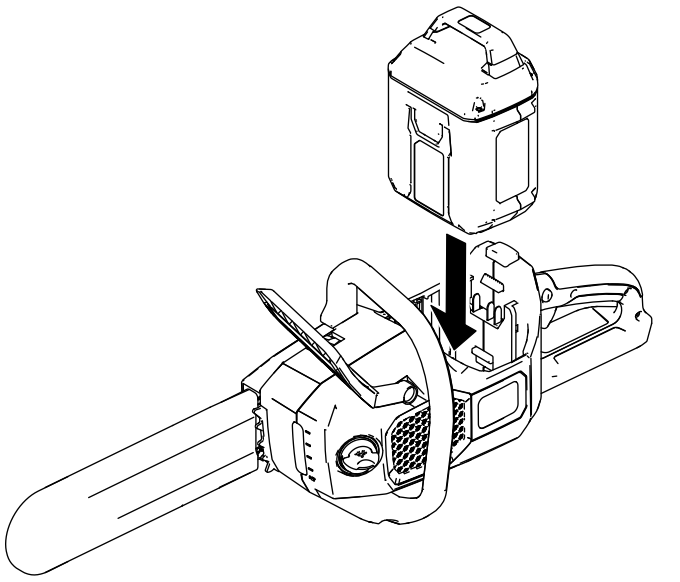


g315766

図 21

バッテリーパックの取り付け

1. チェーンソーを水平な場所にセットしてください。
2. バッテリーパックの舌部をチェーンソーのバッテリーキャビティに合わせる図 22。



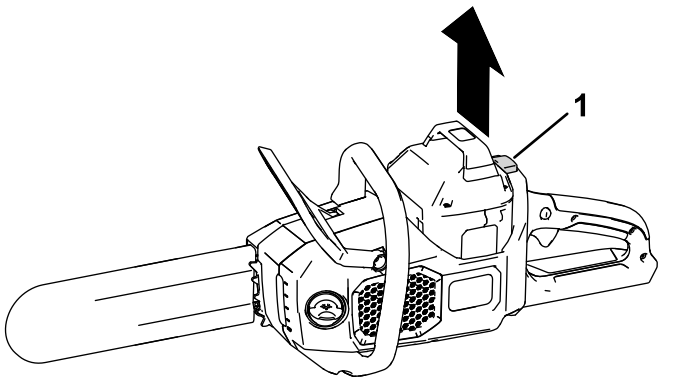
g315702

図 22

3. バッテリーパックが所定の位置に固定されるまで、バッテリーパックをバッテリーキャビティに押し込む。

バッテリーパックの取り外し

1. チェーンソーを水平な場所に置いてください。
2. ラッチを押し下げて、バッテリーパックをキャビティから取り外します。



g315763

図 23

1. ラッチ

保守

推奨される定期整備作業

整備間隔	整備手順
使用するごとまたは毎日	· オイルレベルをチェックし、必要に応じてバーとチェーンオイルを補充する。 · チェーンブレーキをチェックする · オイルがチェーンに流れていることをチェックする。 · チェーンの張りをチェックし、必要に応じて調整する。 · バーがまっすぐで損傷がないようにする · チェーンの鋭さをチェックし、認定サービスディーラーに連絡してチェーンの研磨または交換を依頼してください。
バッテリーを使用した後	· オイルレベルをチェックし、必要に応じてバーとチェーンオイルを補充する。 · チェーンブレーキをチェックする · チェーンの張りをチェックし、必要に応じて調整する。
1年ごとまたは長期保管前	· ガイドバー、チェーン、ドライブスプロケットをメンテナンスする。 · チェーンの鋭さをチェックし、認定サービスディーラーに連絡してチェーンの研磨または交換を依頼してください。

オイルレベルのチェックとバーとチェーンオイルの補充

整備間隔: 使用するごとまたは毎日

バッテリーを使用した後

重要 **バーとチェーンオイル別売のみを使ってください。**

1. チェーンソーの電源を切り、バッテリーパックを取り外します。 バッテリーパックの取り外し (ページ 17)を参照してください。
2. ウインドウからオイルレベルをチェックする。オイルがウィンドウまで達しない場合は、必要に応じてバーとチェーンオイルを補充します図 24。

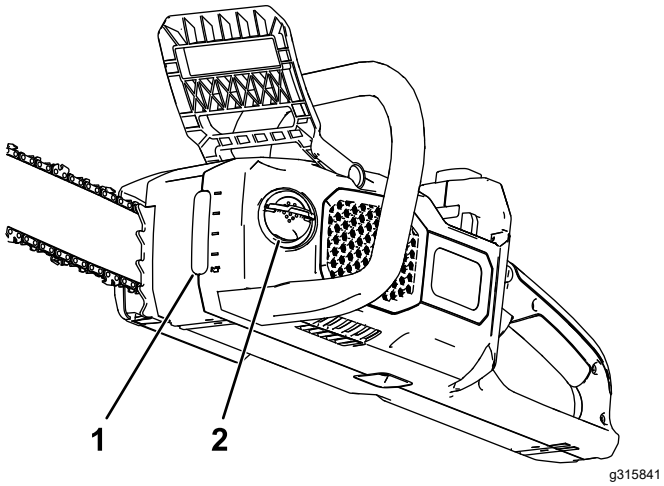


図 24

1. オイルウインドウ
2. オイルキャップ

3. オイルキャップを上に向けてチェーンソーを平らな面に置きます。
4. 燃料タンクのキャップ周りを清掃します図 24。

注 デブリや木片がオイルタンクに入らないようにしてください。

5. オイルキャップタブの蝶ナットタブを広げてキャップを外し、バーとチェーンオイルをチェーンソーに注ぎ、タンクにオイルが満たされるまで続けます図 24。

重要 **チェーンソーに充填ネックの底より高くオイルを充填しないでください。**

6. こぼれたオイルを拭き取り、オイルキャップを締めて、蝶ナットのタブを畳みます。
7. オイルがチェーンに流れていることを確認します。 バーとチェーンオイルの流れのチェック (ページ 19)を参照してください。

チェーンブレーキのチェック

整備間隔: 使用するごとまたは毎日

バッテリーを使用した後

1. チェーンブレーキを停止位置まで前方に動かしてチェーンブレーキを作動させます図 25。

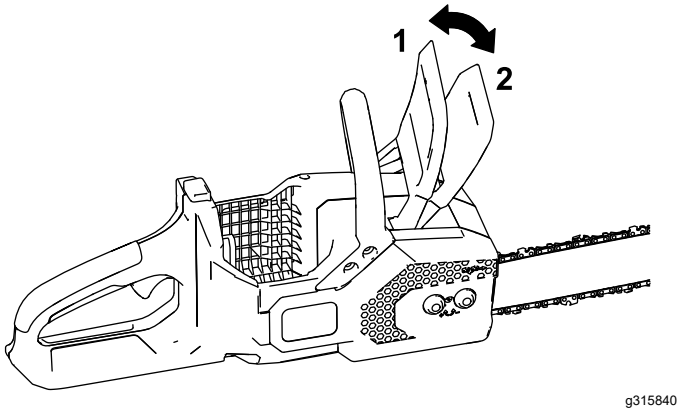


図 25

1. チェーンブレーキ作動位置　2. チェーンブレーキ停止位置

2. チェーンソーの動作をテストする準備をします。チェーンソーを使う前 (ページ 10)を参照してください。
3. チェーンソーを始動してみます。始動する場合は、チェーンソーを正規サービスディーラーに持ち込んで修理してもらってください。
4. チェーンブレーキを作動位置まで後方に動かしてチェーンブレーキを解除します図 25。

バーとチェーンオイルの流れのチェック

整備間隔: 使用するごとまたは毎日

1. チェーンソーを使う準備をします。 チェーンソーを使う前 (ページ 10)を参照してください。
2. オイルがチェーンに流れていることを確認するには、チェーンソーの先端を紙、段ボール、切り株などの表面から数インチ離してチェーンソーを動かします。表面にオイルが薄く噴射されているのが見えるはずです図 26。

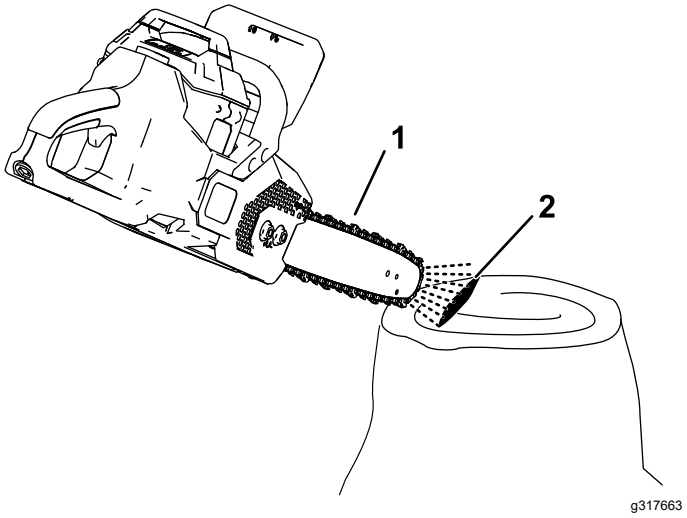


図 26

1. チェーンソーを表面から数インチ離して動かします。　2. オイルが流れているとチェーンから飛散して蓄積してしまいます。

3. オイルが出ていない場合は、タンク内にオイルが入っているか、およびサイドカバーの下の領域がきれいかどうかを確認してください。 オイルレベルのチェックとバーとチェーンオイルの補充 (ページ 18)および ガイドバー、チェーン、ドライブスプロケットのメンテナンス (ページ 21)を参照してください。

チェーンの張りを調整する

整備間隔: 使用するごとまたは毎日

バッテリーを使用した後

チェーンが適切に張られるようにしてください。

チェーンが緩んでいると、ドライブスプロケットとガイドバーの寿命が短くなり、チェーンが外れる原因となる場合があります。

チェーンを締めすぎると、ガイドバーとチェーンが過熱して急速に摩耗し、モーターが焼きついたりチェーンが破損したりする場合があります。

手袋をはめた手でガイドバーに沿ってチェーンをスムーズに引っ張ることができたら、チェーンの張力は適切です。チェーンはガイドバーの下端に接触したままにするのが望ましいです。

また新しいチェーンの場合、数回切断した後に張りを確認してください。通常、新しいチェーンは伸びるため、数回切断すると調整が必要になります。

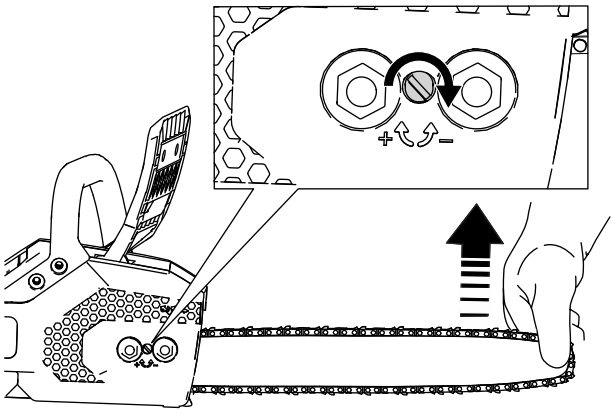
⚠ 危険

チェーンソーの歯に接触すると、重大な傷害を引き起こす可能性があります。

- **チェーンソーの調整やメンテナンスを行う前に、バッテリーパックを取り外してください。**
- **チェーンソーの調整やメンテナンスを行うときは必ず手袋を着用してください。**

1. チェーンソーを水平な場所に置き、バッテリーパックを取り外します。 バッテリーパックの取り外し (ページ 17)を参照してください。
2. チェーンソーが冷えるのを待ちます。

   重要 **熱いままのチェーンを張らないでください。冷えると縮んで、張りが強すぎる可能性があります。**
3. ガイドバーに曲がりや損傷がないか点検し、必要に応じて交換します。
4. チェーンブレーキが作動位置にあることを確認する図 25。
5. オンボードマルチツールを使って、サイドカバーの固定ナットを緩めますが、取り外さないでください図 28。
6. ガイドバーの先端を持ちます図 27。



g315842

図 27

7. オンボードマルチツールを使ってチェーンの張りを調整し、キャプティブナットを締めてサイドカバーをチェーンソーに固定します図 28。
   - **チェーンを締める**には、チェーン張りネジを時計回りに回します図 27。
   - **チェーンを緩める**には、チェーン張りネジを反時計回りに回します。

   チェーンがガイドバーの下端に接触するまでチェーンの張りを調整し、ガイドバーの下端からチェーンを引き離してみます。適切に調整されたチェーンは、ガイドバーから3.26.4 mmしか引き離すことができず、手を放すと元に戻ります。

   チェーンの張りが適切でない場合は、サイドカバーを緩めて手順57を繰り返します。
8. 手でチェーンをガイドバーの周りに引っ張りときは手袋を着用します。適切に張られたチェーンはスムーズに動き、ガイドバーの下端と接触したままにするのが望ましいです。
9. チェーンの張りを再度チェックし、必要に応じてこの手順を繰り返します。

ガイドバー、チェーン、ドライブスプロケットのメンテナンス

1年ごとまたは長期保管前

⚠ 危険

チェーンソーの歯に接触すると、重大な傷害を引き起こす可能性があります。

- **チェーンソーの調整やメンテナンスを行う前に、バッテリーパックを取り外してください。**
- **チェーンソーの調整やメンテナンスを行うときは必ず手袋を着用してください。**

1. チェーンソーを水平な場所に置き、バッテリーパックを取り外します。 バッテリーパックの取り外し (ページ 17)を参照してください。
2. カバーを固定している2つのキャプティブナットを緩めて、サイドカバーを取り外します図 28。

   注 キャプティブナットはサイドカバーから離れないので、カバーを取り外せるまで緩めます。

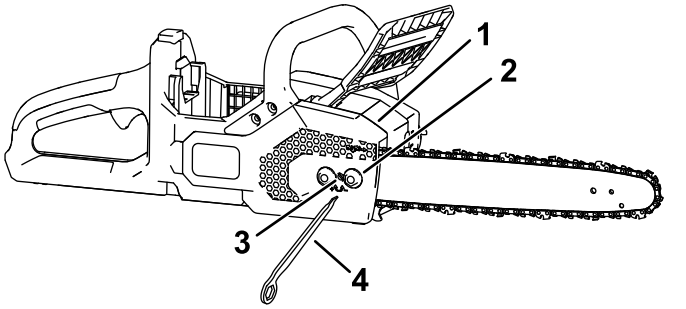


図 28

1. カバー
2. キャプティブナット
3. チェーン張りネジ
4. マルチツール

3. チェーン締め付けネジを反時計回りに回してチェーンを緩めます図 28。
4. チェーンをガイドバーから分離し、脇に置きます。
5. クリップとドライブスプロケットをチェーンソーから取り外します図 29。
6. サイドカバーの下の領域からデブリを取り除きます。
7. ドライブスプロケットを点検し、過度に摩耗または損傷している場合は交換します。
8. ドライブスプロケットとクリップを取り付けます。
9. オイル出口図 29にゴミがないか確認し、必要に応じて清掃します。

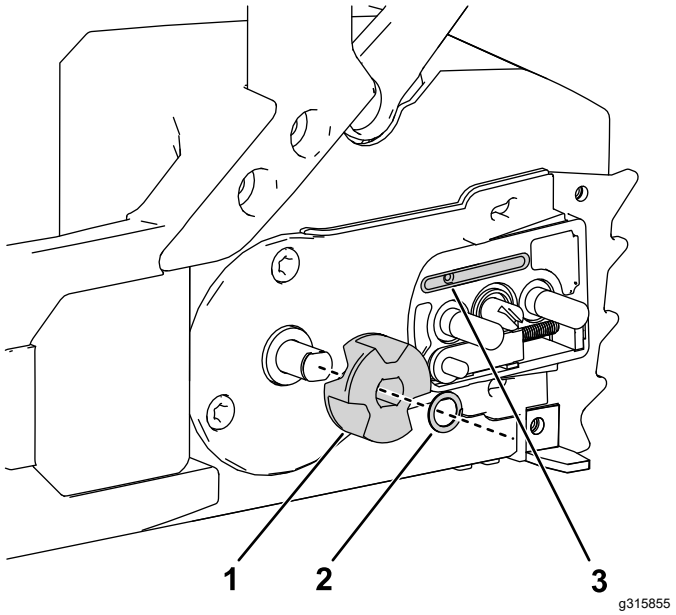


図 29

1. ドライブスプロケット
2. クリップ
3. オイル出口

10. ガイドバーとチェーンを清掃します。ワイヤーまたは小さなマイナスドライバーを使って、前端のスプロケットから始めて後方に向かって、ガイドバーの端に沿った溝から汚れやデブリを取り除きます。

    チェーンソーのオイル出口に沿ったバーのオイルチャンネルが清潔で、オイルがチェーンに自由に流れるようにします図 30。



図 30

ガイドバーの内部セクションを表示

1. オイル出口に接続するこのチャネルが汚れていないようにしてください。
2. バースプロケットがきれいで、自由に回転できるようにします。

11. ガイドバーとチェーンを点検します。バーが曲がっていたり、溝が破損していたり、前端のスプロケットが自由に回転しない場合は、ガイドバーを交換します。チェーンが過度に摩耗または損傷している場合は、チェーンを交換します。
12. ガイドバーとチェーンを取り付けます。 ガイドバーとチェーンの取り付け (ページ 22)を参照してください。
13. オイルがチェーンに流れていることを確認します。 バーとチェーンオイルの流れのチェック (ページ 19)を参照してください。

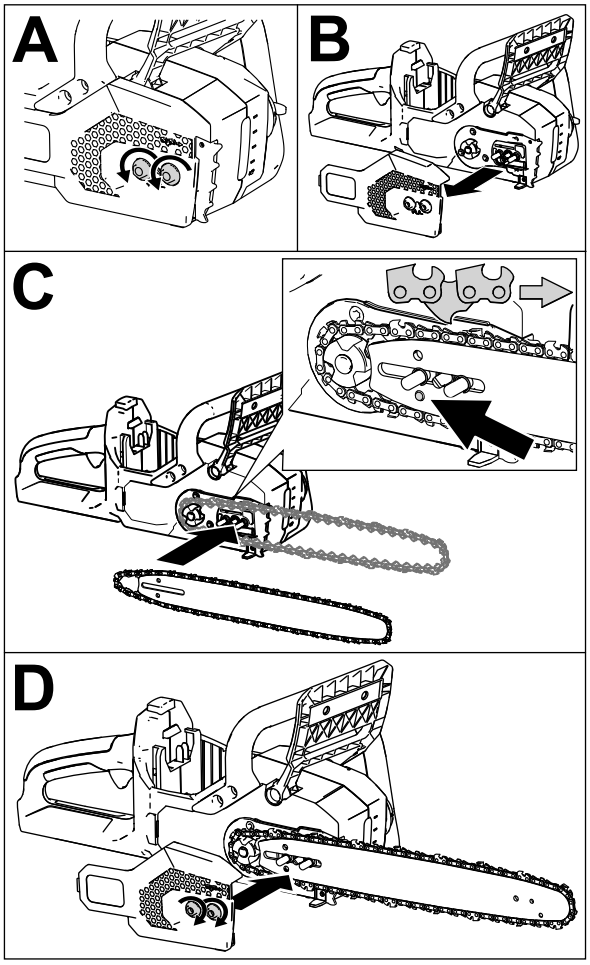
ガイドバーとチェーンの取り付け

⚠ 危険

チェーンソーの歯に接触すると、重大な傷害を引き起こす可能性があります。

- **チェーンソーの調整やメンテナンスを行う前に、バッテリーパックを取り外してください。**
- **チェーンソーの調整やメンテナンスを行うときは必ず手袋を着用してください。**

1. サイドカバーがマシンに取り付けられている場合は、サイドカバーをマシンに固定している2つのキャプティブナットを緩めて取り外します図 31Aと図 31B。
2. チェーンソーのサイドカバーの図図 31Cに示すように、**ガイドバーの上部にあるチェーンの歯の切断面が前を向くように**、チェーンをガイドバーの前端にあるドライブスプロケットの周りに配置します。



g315857

図 31

3. チェーンをガイドバーの周りに通し、チェーンの歯をバーの溝に合わせます。

   注 新しいチェーンを取り付ける場合は、不均一な摩耗を避けるためにガイドバーを反転してください。
4. チェーンの開いたループガイドバー上ではなくをチェーンソーのドライブスプロケットの周りに配置し、図 31Cに示すように、ガイドバーと配置されたたチェーンをチェーンソーに取り付けます。

   重要 **チェーン調整スタッドが図 31Cの矢印で示す穴に挿入されるようにします。スタッドをガイドバーの穴に合わせるには、チェーン張力調整ノブを回す必要がある場合があります。**
5. サイドカバーを取り付けますが、キャプティブナットを完全に締めないでください図 31D。
6. チェーンの張りを調整する。 チェーンの張りを調整する (ページ 20)を参照してください。

チェーンの研磨

1年ごとまたは長期保管前

鋭いチェーンにより、切断性能が向上し、バッテリー寿命が長くなります。

チェーンを木材に無理やり押し付けなければ切断できない場合、または完全な木材チップではなくおがくずが生成される場合は、チェーンを研ぐか交換する必要があります。

認定サービスディーラーに連絡してチェーンの研磨または交換を依頼してください。

サービス

チェーンソーの修理が必要な場合は、認定サービスディーラーにツールをお持ちください。

保管

重要 **マシン、バッテリーパック、充電器を保管する場合は適切な温度範囲内で行ってください。仕様 (ページ 10)を参照してください。**

重要 **オフシーズンにバッテリー パックを保管する場合は、バッテリーのLEDインジケーターが1つまたは2つ緑色に変わるまで充電します。完全に充電されたバッテリー、または完全に使い切ったバッテリーは保管しないでください。マシンを再び使用する場合は、充電器の左端のインジケータライトが緑色に変わるまで、またはバッテリーのLEDインジケータ4つがすべて緑色に変わるまで、バッテリーパックを充電します。**

- 使用後は、マシンを電源から切断しつまり、バッテリーパックを取り外し、損傷がないか確認してください。
- マシンに異物がある場合はすべて取り除きます。
- バッテリーパックを取り付けたまま、マシンを保管しないでください。
- マシン、バッテリーパック、バッテリーチャージャーは、子供の手の届かない、換気の良い場所に保管してください。
- マシン、バッテリーパック、バッテリー充電器を園芸用化学薬品や凍結防止剤などの腐食性物質から遠ざけてください。
- 重大な人的傷害のリスクを軽減するために、バッテリーパックを屋外または車内に保管しないでください。
- マシン、バッテリーパック、バッテリー充電器は、屋根付きの清潔で乾燥した場所に保管してください。

バッテリーパックをリサイクルする準備

重要 **取り外したら、バッテリーパックの端子部分を強力な粘着テープで覆ってください。バッテリーパックを破壊したり、分解したり、そのコンポーネントを取り外そうとしたりしないでください。**



バッテリーを正しくリサイクルする方法の詳細については、地元の自治体または認定サービス ディーラーや配給店に問い合わせてください。

	Call2Recycleシールの貼られたリチウムイオンバッテリーパックは、Call2Recycleプログラムに参加している小売店またはバッテリーリサイクル施設でリサイクル可能です米国およびカナダのみ。近隣の参加小売店または施設を見つけるには、1-800-822-8837に電話するか、www.call2recycle.orgにアクセスしてください。
	ここに示されている高エネルギーバッテリー(HEB) シールの貼られたリチウムイオンバッテリーパック、および6.0 Ah以上の60V Flex-Forceバッテリーは、Call2Recycle HEBプログラムに参加しているディーラーまたは小売店でリサイクル可能です。近隣の参加ディーラーまたは小売店を検索するには、www.hebattery.org にアクセスしてください。

近隣にリサイクルプログラムに参加している小売店や施設が見つからない場合、または使用しているバッテリーパックがどのリサイクルプログラムの対象になるか不明な場合は、ツール/機器の取扱説明書に記載されているカスタマーサポートサイトにアクセスし、適切にバッテリーパックをリサイクルする方法の詳細を確認してください。

米国およびカナダ以外にお住まいの方は、バッテリーパックを適切にリサイクルする方法の詳細については、認定サービス ディーラーまたは配給店に問い合わせてください。

故障探究

この説明書に記載されている手順のみを行ってください。それら以外の点検、整備、修理など、お客様ご自身で解決できない内容は、弊社の正規サービスセンターまたは同等の資格を持つ機関で行う必要があります。

ツールのトラブルシューティング、検査、メンテナンス、または清掃を行うときは、必ずツールからバッテリーを取り外してください。

問題	考えられる原因	対策
チェーンソーが動作しない、または連続的に動作しない。	1. バッテリーパックの充電残量が少なくなっています。 2. バッテリー パックが完全に装着されていません。 3. バッテリーパックが適切な温度範囲を超えているか、下回っています。 4. バッテリーパックが高アンペア制限を超えている。 5. バッテリーパックのリード線が濡れている。 6. チェーンブレーキが作動している。 7. カバーの下にデブリがある。	1. バッテリーパックを充電します。 2. バッテリー パックがハウジングに完全に挿入されるようにしてください。 3. バッテリーパックを温度が5°C40°Cの乾燥した場所に保管してください。 4. トリガーを放し、トリガースイッチを押します。 5. バッテリーパックを乾燥させるか、拭いて乾かします。 6. チェーンブレーキを後方に動かしてチェーンブレーキを解除します。 7. カバーを取り外してデブリを取り除きます。
チェーンソーは動くが、チェーンが回転しない。	1. チェーンがドライブスプロケットに正しく固定されていません。 2. カバーの下にデブリがある。	1. チェーンを取り付け、リンクがドライブスプロケットに正しく取り付けられようにします。 2. カバーを取り外してデブリを取り除きます。
チェーンブレーキが作動しない。	1. チェーンブレーキが損傷しています。	1. 直ちにチェーンソーを正規サービスディーラーに持ち込んでください。
チェーンソーの切断が不十分。	1. チェーンの張りが正しくありません。 2. チェーンが鈍くなっていたり、損傷している。 3. ガイドバーが曲がっているか、溝が破損している。 4. チェーンが逆向きに取り付けられている。 5. チェーンが適切に潤滑されていない。	1. チェーンの張りを適正に設定します。 2. チェーンを交換してください。 3. ガイドバーを交換してください。 4. チェーンを正しく取り付けてください。 5. オイルレベルをチェックし、オイルがチェーンに確実に流れるようにします。
チェーンオイルが適切に潤滑されていない。	1. オイルレベルが低いです。 2. オイル出口が詰まっている。 3. カバーの下にデブリがある。 4. ガイドバーのオイルチャンネルまたは溝が詰まっている。	1. オイルレベルを点検してください。 2. オイル出口からデブリを取り除きます。 3. カバーを取り外してデブリを取り除きます。 4. バー内のデブリを取り除きます。
バッテリーパックの電力がすぐに消耗します。	1. バッテリーパックが適切な温度範囲を超えているか、下回っています。 2. チェーンが鈍くなっていたり、損傷している。 3. ガイドバーが曲がっているか、溝が破損している。 4. マシンが過負荷状態です 5. チェーンが適切に潤滑されていない。	1. バッテリーパックを温度が5°C40°Cの乾燥した場所に保管してください。 2. チェーンを交換してください。 3. ガイドバーを交換してください。 4. 切断するときにあまり力を入れないでください。 5. オイルレベルをチェックし、オイルがチェーンに確実に流れるようにします。